

## 宮川豊史は無党派・無所属100%市民派です！

宮川豊史は政党からの推薦・公認は受けておりません。特定の組織団体からの支援も受けることなく、あくまでも一市民の立場で議員活動を行っています。

## 情熱改革派宮川豊史の新時代への誓い

もう二度と東久留米市を財政危機にさせないために！

- 1 借金により将来の子供達に負担をかけない。
- 2 増税により今の市民のみなさんにも負担をかけない。
- 3 財政調整基金などの基金を積極的に活用。

## 宮川豊史はこれからも東久留米市の改革最前線を走り続けます！

1972年(昭和47年)12月19日生まれ。いて座・A型。

東久留米市立第五小学校、南中学校卒業。子供の頃からのライオンズファン。

立教高校入学後、網膜剥離で視力を失い、全盲の視覚障害者となる。

1995年立教大学法学部卒業。専攻は日本政治史。卒業後、国立障害者リハビリテーションセンター通所、あんまマッサージ指圧師・鍼灸師国家資格取得。

1998年アメリカ・ワシントン州シアトルのワシントン大学へ留学。

2000年オハイオ州クリーブランド大学へ留学。卒業後帰国。

2003年東久留米市議会議員選挙に初当選。現在5期目の議員活動中。

趣味は将棋(見えなくても棋譜の読み上げで指せる)とカラオケ。

## 誰よりもクリーンな政治

宮川豊史は政治献金などの寄付行為は一切受け付けておりません。

「毎日更新」 宮川豊史の東久留米ハッスルブログ

<http://ameblo.jp/miyagawatoyofumi>

発行 久留米ハートネット

みやがわとよふみ

# 宮川豊史の

東久留米  
ハッスルレポート  
【2022年活動報告】

## 東久留米市改革暗黒時代の夜明け

富田竜馬新市長の誕生で東久留米市はどう変わったのか？

東久留米市では昨年の12月26日に市長選挙が行われました。その結果、富田竜馬新市長が初当選を果たし、市長に就任しました。

市長が代われれば市政も変わると言いますが、私は富田竜馬新市長の誕生により東久留米市は明らかに変わったと感じています。富田市長が「やらない・出来ない市役所」から「やれる・出来る市役所」へという考えを明確に示したことにより、行政全体が前向きになりました。多くの職員からも課題解決に向けて積極的に取り組もうという意気込みを感じます。まずは一步、東久留米市は前に向かって動き始めました。

## やれば出来る！富田新市政の三大政策！！

### 1 未来志向の公共施設マネジメントの推進

多額の税金をかけて老朽化した公共施設をそのまま維持補修するのではなく、思い切った統廃合で公共施設の効率化・スリム化を目指す。

### 2 人にやさしいデジタル化

紙いらず・ハンコいらずで、高齢者・障害者のみなさんにこそ便利な市役所に。

### 3 子供達を直接支援

子供達への支援こそ未来への最大の投資。学習環境の整備。小さなお子さんも含め、すべての子供達に図書カードを配布。

長年の子供達の夢であるボール遊びが出来る公園の実現。

## 将来の子供達にこれ以上借金を残さない！

2019年4月30日、みなさんが長年慣れ親しんだ平成が終わりを告げました。激動の昭和と比べ、平成は戦争もなく、文字通り平和に成った時代でした。

しかしその一方で、政治はサービス拡大・歳出増加路線を突き進み、日本の借金は爆発的に増えてしまいました。平成が始まった年の日本の借金総額は約200兆円。それが平成が終わる年には約1100兆円と、30年間で900兆円も増えてしまったのです。

令和という新しい時代を生きる子供達に莫大な借金を残してしまったことは、平成の政治の最大の失敗です。なぜ、誰もこれほどの借金の増加を防ぐことが出来なかったのか。強い憤りを感じます。

令和になってからも日本の借金は増え続け、ついに1200兆円を超えてしまいました。消費税も10%に増税されましたが、借金の削減には何も効果がありませんでした。今はコロナ対策で借金が増えるのも仕方がないのかもしれませんが、忘れてはいけないのは、この莫大な借金はいずれ将来の子供達が返さなければいけないということです。ただでさえ少子高齢化・人口減少で日本の将来は不安だらけなのに、さらに1200兆円もの莫大な借金があったら、子供達が将来に夢と希望を持てるはずがありません。

借金の増加を止めるだけでも難しいのに、借金を減らすなんて不可能だと思う人もいることでしょう。だからといって私達があきらめてしまったら、将来の子供達ももっと苦しむこととなります。子供達が苦しむ姿など絶対に見たくはありません。

私の願いはただ一つ、将来の子供達にはいつも笑顔で、夢と希望のあふれる自由なまちづくりをしてもらいたい！そのために、今ある借金は、今を生きる私達の努力によってなくす。それこそが今の政治が果たすべき責任です。

コロナ禍でも私の改革の意志に変わりはありません。むしろ、コロナ禍だからこそ新しい生活様式に対応するため、改革して行かなければならないのです。一日も早くコロナ禍から脱却し、再び改革の流れを取りもどし、将来の借金をなくす。私はそのような将来への責任を果たすために、これからもありつきの情熱を議員活動に注ぐ決意です。

## 宮川豊史から若者へのメッセージ

新型コロナウイルスの蔓延により、私達の生活は一変しました。特に、学生のみなさんは、本来の学校生活を送ることが出来ず、大きな苦しみや深い悲しみ、悔しさややり切れないきもちを抱えていることと思います。みなさんのことを思うと心が痛み、どのような言葉をかければいいのか解りません。私から一つだけ言えることがあるとすれば、今のつらさ・苦しさは将来に必ず役に立つということです。

私、宮川豊史はいつもハッスル、全力投球。常にポジティブで、他のどの議員よりも元気でタフでしぶといと言われていますが、なぜ私が精神的にここまで強くなれたのか。それは高校1年の時に目が見えなくなり、他の学生達よりもはるかに多くのつらい経験をしたからです。

見えなくなった直後は大きなショックを受け、つらく苦しい日々が続きましたが、そのような経験をしたからこそ今の私があります。精神的に大きなショックを受けた分、鋼のメンタルを手に入れることが出来ました。

みなさんの経験は、いつの日かきっと貴重な財産となります。だから、どんなに苦しくても、負けずに頑張ってください。つらく苦しい時ほど、前向きに、ポジティブに、まずは一歩前に踏み出す。そこから道は切り開かれると私は信じています。

みなさんが今、この時代・この瞬間に生きていることには必ず意味があります。あわてることはありません。あせる必要もありません。みなさんだけの道を見つけ、走りたい時は走り、歩きたい時は歩き、時には一休みしながら、自分のペースで進んで行って欲しいと思います。

人生とは、「ゴールのない駅伝」のようなものです。私達の先輩方の熱い思いがこもった襷を受け継ぎ、自分が任された区間を全力で走る。そして、出来るだけ良いタイムで、その襷を次の世代へとつないでいく。そのくり返しで私達の社会は成り立っています。今、自分がどれだけ頑張れるかで、将来にどれだけ良いまちを残せるかが決まる！だから私は全力で走っているのです。

私の襷は、いずれみなさんに渡します。その日が来たら、ぜひ私の熱い思いを受け取ってください。そして、その襷にみなさんの思いを乗せて、みなさんの新しい時代を走って行って欲しいと思います。

## 領収書データ

表示日:2022年11月8日

下記、正に領収いたしました。

宛名	久留米ハートネット 宮川豊史様
金額	¥45,300- 注文No.30072000001 ※但し、ハッスルリポート 印刷代金として (クレジット決済)
ご入金日 (ご決済日)	2022年10月11日

ご利用ありがとうございました。

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。



まごころ印刷

アルプスPPS

アルプスPPS

〒136-0076 東京都江東区南砂1-10-5

アルプスPPS 本社工場

# 新時代を切り開く 情熱改革派



私、宮川豊史はこれまで5期20年間、東久留米市の改革の最前線を走り続けて来ました。改革の結果、厳しい批判を頂くこともありましたが、目が見えないことが理由で差別的対応を受けたことは一度もありません。

見えないハンディがあるにも関わらず他の議員と同様の議員活動が出来たのは、みなさんのご理解・ご協力のおかげであり、心から感謝致します。

あらゆる分野で障害のある人が活躍することが当たり前の社会にする。それが私のみなさんへの恩返しです。私はいつも前向きでポジティブを心がけています。なぜなら、マイナス思考で考えても、問題は何も解決しないからです。「障害があっても、それが社会生活を送る上でのハンディとはならない！」そのような新時代を目指して、私は今日もハッスルし続けるのです。

宮川豊史は無党派・無所属、100%市民派です！

宮川豊史は政党からの公認・推薦・支援は受けておりません。

また、政治献金などの寄付行為も一切受け付けておりません。

1972年(昭和47年)12月19日生まれ。第五小学校、南中学校卒業。五小ではトランプとサッカー。南中では将棋部。子供の頃からライオンズファン立教高校ではバスケットボール部に入るが、その直後に網膜剥離で全盲の視覚障害者となる。立教大学法学部卒業。専攻は日本政治史。国立障害者リハビリテーションセンターであんまマッサージ指圧師・鍼灸師国家資格取得。アメリカ・シアトルのワシントン大学、オハイオ州クリーブランド大学へ留学。2003年 東久留米市議会議員選挙に初挑戦・初当選。現在5期目。

## みやがわとよし 宮川豊史の 東久留米ハッスルレポート

2023年  
活動報告

### これだけはやる！ 東久留米駅西口に下りエスカレーターを エレベーターは両側開閉式で通り抜け可能に

私、宮川豊史はこれまで、歳出削減を伴う改革に全力で取り組んで来ました。そのため多額の税金を必要とする事業には、あまり積極的ではありませんでした。

しかし、これだけは違います。東久留米駅西口の下りエスカレーターの設置は一定の税金を投入してでも実現すべき事業だと考えます。なぜなら、足や膝に痛みのあるみなさんにとっては、階段は上りよりもむし下りの方がきつく感じるからです。

今の時代、東久留米駅西口のように毎日冬の市場のみなさんが利用する施設に、下りのエスカレーターがないの方が不自然です。

またエレベーターは、車椅子やベビーカーを利用するみなさんの安全性を確保するためにも、入口とは反対側の扉が開くようにすべきだと考えます。

#### まずは違法性の解消を

東久留米駅西口昇降施設は、建築基準法第6条に定める建築確認申請が行われていないことが明らかになりました。また、建築基準法第44条で制限されている道路上の建築物に該当する恐れもあります。

まずはこれらの違法性を解消することが、現在の東久留米市が取り組むべき最優先課題です。この課題を解決することができて初めて、下りエスカレーターの設置とエレベーターの改修が実現可能となるのです。

頒布責任者 宮川豊史 東京都東久留米市学園町1-11-22  
印刷会社 株式会社サイトウ印刷 埼玉県新座市畑

発行

東久留米ハートネット

# 新時代を切り開く三大改革！

## 1 公共施設マネジメントの推進

わかりやすく言うと、いくつかの古い施設をなくして新しい施設を建てるということ。そうすることで大規模改修や維持補修などのコスト削減を図ります。

しかし、単なるコスト削減だけが目的ではありません。施設のスリム化・効率化によって生み出された財源で、さらなる施設の充実を目指します。

例えば生涯学習センター。そのまま大規模改修を行うと、何億円もの工事費がかかります。それならば新しい複合施設として建て替える方が財政的なメリットは大きいと考えます。そして複合施設化する際は、現在の500人定員のホールを、1000人規模のホールにすることによって、より多くの市民のみなさんに喜ばれる施設として生まれ変わらせます。

## 2 人にやさしいデジタル化

行政のデジタル化が進むことによって、コンピューターやスマホなどで各種手続きが出来るようになり、市民のみなさんの利便性の向上が見込まれますが、それがデジタル化の真の目的ではありません。普段、市役所の窓口で不便を感じている障害のあるみなさん・高齢者のみなさんが簡単に手続き出来るようになってこそ、デジタル化の意味があります。

理想は印鑑は不要、紙に書く必要もなく、クレジットカードで買い物するように、マイナンバーカードで手続きが出来るようにすることです。

## 3 こどもたちもハッスル

様々な活動を行う子供達を積極的に支援することは未来への最大の投資！

勉強したい子供には、公共施設に学習スペースを確保。

外で遊びたい子供には、ボール遊びが出来る公園を整備。

家で過ごしたい子供には、図書カードを配布。

また、楽器を練習したり、その成果を披露する場の提供など。

宮川豊史は、これらの事業の財源を生み出すための改革に全力を尽くします。

# 宮川豊史の未知(道)への挑戦！

## 東久留米市内に「道の駅」を

みなさん、旅行先で「道の駅」を見かけたら、つい立ち寄りたくなりませんか？道の駅は当初、道路利用者の休憩施設として設置されましたが、今では道の駅に行くことが目的となるほど、その地域の魅力を発信する施設として、全国的に増え続けています。道の駅は日本全国に1198か所ありますが、都内にはまだ八王子にしかありません。ぜひとも東京で2番目の道の駅を目指したい！東久留米市の財政力をアップするためには、地域経済の活性化が不可欠です。地域経済を活性化させるためには、市外から人を呼び寄せる何かが必要です。道の駅はその最も強力な切り札になると考えます。

道の駅実現への道のりには、いくつもの大きな壁があります。その最大の壁は土地の確保です。現段階で市内にそのような広大な土地を見つけるのは極めて難しいと言えます。しかし、難しいからといってあきらめてしまったら、東久留米市は何もわかりません。難しいからこそ、挑戦する価値があります。

**やれば出来る！** 市民も議会も行政も、みんなが力を合わせて、この難題に立ち向かうことにより、東久留米市の新時代は切り開かれると私は信じています。

## ふるさと創生って覚えてますか？

1988年、昭和63年、当時の竹下内閣は全国の市町村に地域振興を目的として1億円を配りました。なぜそんなことをしたのか、今では全く理解できませんが、もっと驚くべきことは、そのお金が東久留米市にまだ残っているということです。現在の東久留米市のふるさと創生基金の残高は6872万円です。この昭和の遺物とも言うべきお金を、いつまでも放置し続けるのは政治の無策です。道の駅建設の際には、このふるさと創生基金をすべて使い切るべきだと考えます。

宮川豊史

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

5 年 2 月 20 日

様

¥78,100

但し ハウスビルボード 2023  
上記の金額正に領収いたしました

株式会社 サイトウ印刷

〒352-0012 埼玉県新座市畑中2-2-18

TEL : 048 - 483 - 7000

FAX : 048 - 483 - 7007

